

1. 本書の内容

1章のオブジェクトの使い方から13章の例外処理の使い方まで、本書の前半では、オブジェクト指向の基本について詳しく解説しています。オブジェクト指向は難しいと言われていますが、数多くの図版と共に、ジャックとトムという猫のキャラクターが、テーマのポイントに注意を向けたり、疑問点をとりあげたりします。ポリモーフィズムなどの高度な内容でも、楽しく、そして平易に理解することができるでしょう。



先輩、オブジェクト指向をマスターしたいんですが…
パ、パッとわかる方法ってありませんか？



うむ、それは…、もちろんある。
オブジェクトを作ってみるのが一番だ。



えっ！、説明もなしに、もう作るんですか。
(何も知らないのに、大丈夫かなあ)



大丈夫、とても簡単だ。
プログラムの9割は自動生成するから、手で書くのはほんの数行だ。

後半の14章からは、主に、ライブラリクラスを利用する、オブジェクト指向の応用について解説しています。NIOとI/Oライブラリ、コレクションフレームワーク、ラムダ式、ストリーム、Date Time API、列挙、文字列と正規表現、そしてコンカレント処理まで、最新の技術を網羅しました。

Java言語は、Java8(2014年)にラムダ式が登して大きく変わりました。本書では、ラムダ式を学ぶための準備に当たる章(18章)を設け、本論(19章)では、なぜラムダ式なのか、その実体は何なのかなど、基本から平易に解説しました。本書でラムダ式の完全理解を手になさってください。

マルチスレッドの処理でもラムダ式を使います。特に、CompletableFutureを使うと、メソッドチェーンとラムダ式により、高度なコンカレント処理を簡単に実行できるようになりまし

た。従来のマルチスレッド処理が霞んでしまいそうな勢いです。応用として、最後の 24 章で解説しています。

2. 対象とする読者

本書は、わかりやすい Java シリーズの 1 冊で、オブジェクト指向とその応用を解説しています。同シリーズの「初めてのプログラミング」または「入門編」の後に読む本です。Java 言語の基本文法の知識だけしか前提していないので、初心者でも楽に読み進めることができます。

また、最新の仕様に対応しているので、NIO(NewI/O)、ラムダ式、ストリーム処理、Date Time API、CompletableFuture など、新しい Java 言語を学び直したいという人たちにも、十分役に立つはずです。

さらに、本書のカバーする範囲は、Oracle 社の Java 言語認定資格である OCJP に対応しているので、大学、専門学校、研修・講習会等での Java 言語の教科書としても最適です。